



テストで、世の中と自分をつなげるって？

2017年7月9日、朝日新聞社主催「第7回未来をつくる学びテスト」が実施されました。
小学3年生を対象としたこのテストのテーマは、「自分で決断するチカラ」「想像するチカラ」「物事を伝えるチカラ」。
今回も日能研に問題作成の協力をお願いしました。「世の中の出来事」を題材に、
“未来の大人たち”への想いもこめたテスト——いったいどのようなテストなのでしょう。
朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。

国語

つくる学ぶテスト 3年 国語

もうパンは捨てない

2030 SDGsで変える

作る・売る・働く 全一

算数

月面へ国際レース

科学

ポケモンGO、日本でも配信開始 欧米で爆発的人気

ポケモンGO熱中注意報 交通事故、全国で36件

各地に殺蜂、住民困惑

人気のゲームからも!?

世界課題と身の周りをつなげる。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは、2015年に国際連合で採択された17の目標(ゴール)のこと*。新聞記事を通して、いまだ子どもたちに、自分ごととして考えてほしいことを問いかけています。

スマホの使い方を自分で考えて決める。

「あなたは今、小学3年生です。あなたがスマホを持ったら、または、今後持ちつづけたら、どのようなことに気をつけて使いたいのと思いますか。理由とともに、あなたの考えを書きましょう。」と、問いかけました。

NICHINOKEN

朝日新聞に掲載された実際の記事を用いて問いかけ、「国語」「算数」、そして「科学」。テスト問題の表紙には次のようなメッセージが添えられています。

『これから問題に取り組む中で、「知らない」「まだ学んでいない」と感じるものと出あうかもしれません。「これであっているのかな」と不安になるかもしれませんが、問題の中にはみなさんが取り組んでいくための手がかりがたくさんあります。そして、採点する人たちは、みなさんが考えたことを少しでも知りたいと思っています。思いついたこと、考えたことを答案用紙に表現することに、ぜひチャレンジ

してみてください。』

「世の中の出来事」——社会と自分とのつながりをリアルに感じる。

記事や図、表などから「情報を読みとる」。分析し、整理してつなぎ合わせ「筋道を立てて考える」。背景にあるものを「想像する」。自分の考えを他者に分かるように「表現する」。

あらかじめ答えなんて用意されていない世の中を問題とする。それは「既知」ばかりを問う従来型のテストではなく、「未知」に向き合うテストだからこそ実現できること。子どもたちは、その場で自分の中に

問いを動かし、自分の答えとして自由に表現していきます。楽しい! おもしろい! とテストの中でも学んでいます。テスト問題をきっかけに、テストの後も学びは続き、広がり、育っていくのです。

「知識量」と「測る」を結ぶテストではないこと。重要なのは、子どもたちのアタマとココロを刺激し、「考える」を動かす、「考える」そのものにアプローチできるテストであること。ただ事実を遠くからながめて知っているだけでなく、自分もそこにいる人として興味をもつ。共通点や相違点を見つけてみる。気づくために見方を変えてみる。身の周りのできごとや、

自分の体験につなげてみる——そうして学びや体験を重ねていくことは、SDGs17のゴール*に示されるような、世界中の課題に一人ひとりが自分ごととして向き合っていくことにつながると私たちは信じています。

日能研は、そんな 未来の大人たちを育てる“未来につながるテスト”をこれからもつくり続けていきます。

世界と主体的につながる。自分を感じて問いをつくり出す。未知に向き合う自分を育てていこう。

日能研経由、私学へ。——そして未来へ。



日能研 全国テスト

参加無料

【科目】2科目(国語・算数)
【会場】お近くの日能研各校
【時間】1回目 9:00集合
2回目 13:00集合
※一部、教室によって実施要項が異なります。



保護者会同時開催!

今回の全国テストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

テストの詳細・お申し込みは
日能研 検索
または
お近くの日能研へ!
以下のQRコードからも!

学校行事などで都合がつかない場合はどうぞお気軽にご相談ください。

